

「お互いの違いを大切にしよう」

2019年1月8日始業式

新年、明けましておめでとうございます。年末年始の休みの間、学校を離れ、先生、友だちとも離れ、いつもとは違う生活の時間で過ごし、気持ちをリフレッシュすることが出来たことと思います。

さて、今朝は、2019年最初の集会ですので、いつもより少しだけ長くお話しします。私たちの学校、つきみ野中で大切にしていきたいことについて、お話ししたいと思います。「私たちの学校で大切にしていきたいこと」ですので、これまでも折に触れてお話ししてきたことです。

それは、私たち一人一人が異なった存在である、ということをお互いに認め合い、お互いが違っている、ということをお互いに大切にすることです。

どうしても分かりませんが、人間には自分と違ったものを警戒してしまう、あるいは、自分との違いをマイナスの感情でとらえてしまう傾向があるように思います。そして、自分自身についても、自分の考え方や、あり方が周りの人と違っていると、不安を感じてしまうことがあります。

例えば、何かの集まりで、「これが良いと思う人、手を挙げて下さい。」と言われて、1人だけ手を挙げるのには少し勇気がいる。

しかし、例えば、このつきみ野中に集まった一人一人は、皆、これまでその人にしか歩むことのできない十数年を生きてきました。家族のあり方も皆違いうだろうし、学校から帰ってからの時間の過ごし方も違う。これまでに会った先生や友達も違うし、読んできた本も違う。

そう考えると、私たちはお互いに違っていることが当たり前なのです。今年、2019年をどんな年にしようかということも一人一人違うでしょう。もしかしたら、「今年どんな年にするか」と考えない人もいるでしょう。

私は、つきみ野中で学ぶ人たちは、お互いの違いを認め合い、人の違っている点も自分の違っている点も、大事に出来る人であってほしいと思います。

たとえばなしですが、つき中を一つの人間の体とすれば、体の中にあるそれぞれの臓器は同じようにはできていませんね。それぞれが違う働きをして人間の体を支えているわけですから。

世の中にある「いじめ」あるいは「差別」といったものは、お互いの違いを認め合えないところにも、原因があるように思います。自分がほかの人と違っていたとしても、それを是非、大切にしてほしいと思います。